

2022年度 教職員のための夏季教育講座 募集案内

講座A 8月1日(月)午後 14:00~

「多様な関係の中のジェンダー暴力」について ~LGBTQ+の立場から

高校にも多様な「性」の生徒や教職員がいます。性指向や性自認(SOGI)はすべての人々に関わることで、生徒や教職員自身の「性」について、また親しい関係の中での暴力について、私たちは知らないことがたくさんあります。少数派の生徒や教職員の孤立を防ぎ、生徒や私たちが加害者にも被害者にもならないようにするために、多様な「性指向や性自認性(SOGI)」、そこでのDVや性暴力について認識を深め、学校の現場でできることを探ってゆきたいと思います。

講師 つじ ゆうさくさん

性暴力ワンストップ支援センター専門相談員/AUEア加害者プログラムファシリテーター/LGBTQ+専門相談員。ジェンダー平等な社会をめざして、長年、DV、性暴力、セクハラなどジェンダーに基づく暴力(GBV)被害者の支援(アドボケート)、対策提案、防止教育などに携わっている。

講座C 8月3日(水) 午前 9:30~

「哲学対話」を高校教育で生かす ~教師に教えることで生徒は最大に学ぶ

「哲学対話」を教育に取り入れること(「こども哲学」)を提唱しておられる講師から『じぶんで考え 自分で話せる 子どもを育てる哲学レッスン』の実践を学びます。考える力、話す力を養う「こども哲学」は、高校のさまざまな科目にも使えます。今回の講座ではシチズンシップ教育、「総合的な探究の時間」を取り上げ、「主体的、対話的で深い学び」、「教師からは教えない教育、教師が生徒から教わる教育」について考えます。

講師 河野 哲也さん

立教大学文学部・教授。1963年東京生。博士(哲学)慶応義塾大学。日本学術会議連携会員、日本哲学会など多くの学会の理事や委員を務める。専門は、現代哲学と倫理学。近年は環境の問題を扱った哲学を展開している。また、教育の問題にも関心を持ち、対話によって思考とコミュニケーション力を養う教育を、幼稚園・保育園児から高校生を対象として、多くの学校や図書館などで実践している。

講座B 8月2日(火)午後 14:00~

教育格差を考える

出身家庭や地域による教育格差はいつの、どの社会にも存在しています。ここでは、主として高校段階での教育格差の実態や背景について、多角的な統計データを踏まえて検証し、わたしたちに格差解消にむけて何ができるのかを確認します。とりわけ高校教育の現場にかかわる教職員が採るべき、教育実践・政策・制度の具体的な改善につながる対策について、建設的な議論を発展させるための考察を行います。

講師 松岡 亮二さん

龍谷大学社会学部准教授。教育社会学者。専門は教育格差、社会調査。単著『教育格差：階層・地域・学歴』(ちくま新書)は新書大賞2020で3位に選出されるなど大きな注目を浴びた。(共)編著に『教育論の新常識：格差・学力・政策・未来』(中公新書ラクレ)、『現場で使える教育社会学：教職のための「教育格差」入門』(ミネルヴァ書房、共編著)がある。

講座D 8月3日(水)午後 14:00~

「歴史に学ぶ」 ~この国を見つめなおすヒント

一寸先も予想しがたい現代。私たちが日々接している高校生など若い世代にとって、現代社会はどのように見えているのでしょうか。国際社会と国内政治の大きな変動を押さえつつ、そのような外的環境と自らが希望する社会のズレを自覚しつつ生きるためには、「歴史に学ぶ」ことが大切です。日本の近現代史が専門の講師をお迎えして、今の社会、延いては「この国の形」を見つめなおすヒントを探ります。

講師 加藤 陽子さん

1960年、埼玉県生まれ。東京大学大学院人文社会科学系研究科教授。1989年、東京大学大学院博士課程修了、専攻は日本近現代史。2010年『それでも日本人は「戦争」を選んだ』(朝日出版社)で小林秀雄賞受賞。著書に『満州事変から日中戦争へ』(岩波新書)、『この国のかたちを見つめ直す』(毎日新聞出版)、共著『学問と政治—学術会議任命拒否問題とは何か』(岩波新書)等。



期 間 8月1日(月)～3日(水)
時 間 午前講座 9:30～12:00
午後講座 14:00～16:30
会 場 神奈川県高等学校教育会館
横浜市西区藤棚町2-197
TEL 045-231-1180

……切り取らず、この面をそのまま045-231-2536へFAX……

2022教職員のための夏季教育講座 受講申し込み書

お名前

学校名*

受講の可否を受信するFAX番号**

(勤務先・自宅)

* 教職員・学生以外の一般の方もお申込みできます。一般の方はご住所をご記載ください。

** 受講の可否をご連絡します。1週間以上たっても連絡のない場合はお電話ください。

メールによるお申し込みも受け付けています。

宛先は ab129@green.ocn.ne.jp または右のQRコードを読み取ってください。件名は「夏季教育講座受講申し込み」とし、本文で、お名前と学校名(一般の方はご住所)と参加希望講座をお送りください。



参加希望講座 希望する講座の口を塗りつぶして(■)ください。

講座A 8/1(月)午後 「多様な関係の中のジェンダー暴力」について

講座B 8/2(火)午後 教育格差を考える

講座C 8/3(水)午前 「哲学対話」を高校教育で生かす

講座D 8/3(水)午後 「歴史に学ぶ」

申込期間 6月13日(月) ～ 7月22日(金)

◎ 定員に余裕がある場合はそれ以降もお受けしますので、お電話ください。

◎ 申し込み順に受講者を決定し、「受講の可否を受信するFAX番号」またはお送りいただいたメールアドレス宛に通知します。

◎ 一部WEB講座になる可能性があります。その場合、改めて周知に努めるとともに、申し込まれた方には個別にお知らせします。

